

第4章 重点施策

- 「環境」をキーワードにした地域団結力の向上

「環境」をキーワードにした地域団結力の向上

1 考え方

第3章に掲げた本計画の目指す環境像の実現には、5つの分野別目標ごとに整理した施策の推進による直接的な効果だけでなく、本町の課題や社会動向等を踏まえ、分野横断的な視点から、事業を展開することにより、本町の複数課題を同時解決に導くことができる事業の検討が求められています。

ここでは、そういった視点から、積極的かつ重点的に検討が必要な施策について、目的及び事業展開の可能性を整理し、多様な主体の協働によるまちづくりにつなげることを目指します。

2 目的

環境問題は、1つの問題に対して複数の分野が絡み合い解決を複雑にしています。

また、町民・事業者・町などの主体がもつ情報、知識、技術は、貴重な地域資源であるにもかかわらず、交わる機会がほとんどないのが現状です。

ここでは、「ごみの減量」をはじめとする本町として早期に取り組むべきテーマを設定し、解決に向けた仕組みづくりを目的とします。

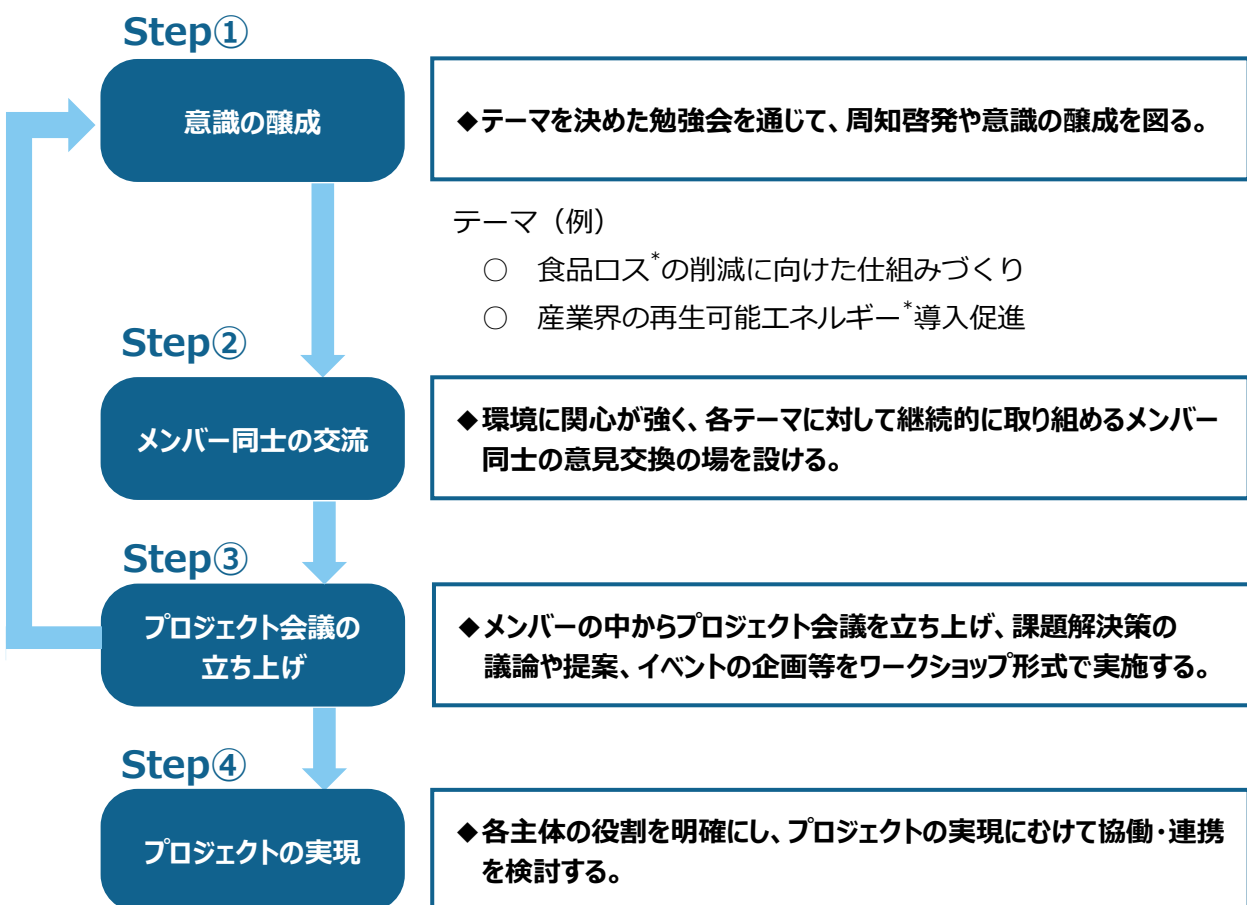
3 施策の展開

まずは、行政がテーマごとに重要となる主体をターゲットにした勉強会などを企画し、周知啓発や意識の醸成を図ります。

その後、継続的に活動したいと考える人同士をつなげるコミュニティを形成するために交流の場を設けます。

意識の向上及びコミュニティの充実に努めた後に、実際にプロジェクトとして実施の可能性が高い施策を個別に検討してもらえる環境を作ります。

施策の展開フロー



4

各主体の役割

この施策において重要となる各主体の役割について、町民は、町が抱える課題について問題意識を持つとともに、町民視点からの課題や情報、アイデア等を提供していただきます。また、事業者は、事業者視点からの問題提起や、課題解決に向けた知識、技術力等の提供を通じて、地域に参画いただき、町全体で問題解決に向かっていきます。

なお、行政はテーマごとに重要となる主体同士の交流の機会や情報の提供の役割を担うことで、地域全体の団結力を向上させるとともに、新しい協働や連携が生まれるよう促していきます。

各主体の役割

